

## 1. 概況

令和2年度の事業計画の基本方針、重点項目に基づき事業を実施した。

学校給食用物資の選定・調達については、引き続き原材料の産地確認や放射性物質の検査結果の確認、学校給食用物資納入指定業者の指導など、安心・安全・良質な物資の選定に努めた。

また、契約栽培による野菜調達や地元産物資の優先購入など地産地消の推進を図った。

さらに、新築された南学校給食センターにおける食物アレルギー対応食（鶏卵、乳、えび、かに）の提供について、本会もこれに対応した給食用物資を提供した。

なお、本会のホームページに南・北・西学校給食センターの献立のほか、事業計画書・予算書・事業報告書・決算書などを掲載し、引き続き積極的な情報発信に努めた。

令和2年度の給食実施については、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、松江市においても市立小・中・義務教育学校、幼稚園が4月16日から5月24日まで臨時休校とされ、逆に1学期が7月31日まで延長されるなど大きな変更がなされた。

そのような中、令和2年度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の運営に努めた。しかしながら、新型コロナウイルスの緊急事態宣言や飲食店の営業自粛、巣ごもり需要の拡大の影響等により、給食用食材の価格も予想を超える範囲で大きく変動した。一方、国が新型コロナ対策として消費拡大や農林水産物の理解醸成を図るため実施した、「国産農林水産物等販売促進緊急対策事業」を活用し県産の和牛肉・水産物・果物の無償提供事業を松江市を通して受け入れる等の努力もしたものの、収支状況は3年ぶりに赤字を計上する状況となった。

## 2. 理事会等の開催状況

## (1) 理事会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	令和元年度事業報告並びに収支決算書類(案)の承認について	R2.6.11	ホテル 白鳥
	議第2号	定時評議員会の招集について		
	議第3号	役員候補者の推薦について		
	議第4号	臨時理事会の書面同意について		
第2回	議第1号	副理事長の互選について	R2.6.27	書面表決
第3回	議第1号	令和3年度事業計画及び収支予算について	R3.3.17	南学校 給食センター

## (2) 監査会

議 題	開催日時	開催場所
令和元年度事業並びに決算についての監査	R2.6.1	会議室

### (3) 評議員会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第 1 回	議第 1 号	評議員の選任について	R2.6.25	ホテル 白 鳥
	議第 2 号	役員を選任について		
	議第 3 号	令和元年度収支決算承認について		

### 3. 登記、許認可、報告、届出事項

行政官庁	区 分	年 月 日	事 項
松江地方法務局	申請	令和 2 年 7 月 15 日	法人変更登記申請書
島根県教育委員会	報告	令和 2 年 6 月 25 日	令和元年度事業報告書・収支決算書提出
	届出	令和 2 年 7 月 22 日	公益法人変更届出書提出
	報告	令和 3 年 3 月 25 日	令和 3 年度事業計画書・収支予算書提出

### 4. 評議員、役員に関する事項（令和 3 年 3 月 31 日現在）

#### 評議員

氏 名
大 本 公 良
清 水 伸 夫
石 原 芳 子
福 島 喜美子
長 島 美保子
万 代 悦 子
吉 原 隆 子

#### 役員

役職名	氏 名
理事長	早 弓 康 雄
副理事長	吉 崎 朗
常務理事	樋 原 哲 也
理事	岡 賑 悟
	石 川 芳 廣
	宮 岡 愛 子
	佐々木 明 美
	長谷川 修 二
	福 田 郁 子
監事	金 井 寿 彦
	木 村 忍

5. 参与に関する事項（令和3年3月31日現在）

氏名	所属	職名	備考
陰山直也	松江市立北学校給食センター	所長	
安達真次	松江市立南学校給食センター	所長	
山崎日出夫	松江市立西学校給食センター	所長	
大谷元城	松江市立鹿島学校給食センター	所長	
山本義仁	松江市立島根学校給食センター	所長	
坂根泰明	松江市立八雲学校給食センター	所長	
柳本知史	松江市立宍道学校給食センター	所長	
大谷浩	松江市立東出雲学校給食センター	所長	

6. 職員に関する事項（令和3年3月31日現在）

区分	職名	氏名
職員	事務局長	樋原哲也
	事務員	平野恵美
		福田陽子
		上代有里花

7. 重点項目

(1) 安心・安全な給食用食材物資の選定・調達

①学校給食用物資選定会

学校給食用物資選定会は、「学校給食衛生管理基準」に基づき、平成23年度から引き続き、松江市PTA連合会並びに松江市教育研究会食育部から参画を得て、給食物資の選定方法・選定過程の透明性の確保、学校給食の運営に対する理解と協働の推進に努めた。

なお、選定会は、松江市立北・南・西学校給食センターで使用する食材物資を対象に、夏休み期間を除き毎月開催している。

[学校給食用物資選定会開催状況]

開催月日	選定物資	選定者	場所
4月10日	5月使用分	○松江市PTA連合会 ○松江市教育研究会食育部 ○松江市立北・南・西学校給食センター各所長・学校給食栄養管理者 ○松江市学校給食課	松江市立西学校給食センター2階会議室
5月8日	6月使用分		
6月2日	7月使用分		
7月28日	2年度2学期・9月使用分		
9月1日	10月使用分		
10月1日	11月使用分		
11月5日	12月使用分		
12月8日	2年度3学期・1月使用分		
1月8日	2月使用分		
2月2日	3月使用分		
3月11日	3年度1学期・4月使用分		

②学校給食用物資納入指定業者登録

本会は、良質で安心・安全の食材物資を安定的に調達するため、食材物資を購入する業者の指定登録制（登録期間2年）をとっている。

平成31年4月1日から2年間の登録決定した66業者（主食7業者、牛乳2業者、副食のべ58業者）から購入した。

ア 納入指定業者数（31～2年度）

給食センター管内	登録決定数	年度末登録数	備考
北・南・西	32	30	新規 1
鹿島	3	3	廃業 2
島根	3	3	撤退 1
八雲	7	7	
玉湯小・中	3	3	
宍道	9	9	
東出雲	9	9	
計	66	64	

※ 南・北・西センターの業者数は、他センターに納入している業者を含む。

③地産地消の推進について

野菜の調達については、学校給食用物資選定基準の「同等・同価格のものは、松江市内産・島根県内産を選定する。」に従い地元産を優先的に使用した。

特に、JAしまねとの契約栽培による野菜は松江市の助成（25%）があり低価格であるが、数量の確保や規格（大きさ、重さ）などの課題もある。

一方、松江市では平成29年度からの総合計画における学校給食の地産地消率を、学校給食で使用する野菜について、平成28年度の33%を令和3年度には40%の目標値とされている。これを具現化するため、松江市では平成30年1月に「松江市地産地消推進行動計画」が策定された。

松江市やJAしまねと連携を強化し、契約栽培農家や野菜の種類を増加、作付け状況を見据えた献立作成などを行った結果、平成30年度以降は目標値を上回る成果を達成することができた。今後も引き続き地産地消の推進に努めていく。

主要8品目 たまねぎ・キャベツ・白菜・ほうれん草・きゅうり・さつまいも  
大根・かぶ

地場産野菜使用割合（%）の変化

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
主要8品目	33.1	35.3	45.5	43.8	51.0

(2) 給食用食材物資の安全確保

### ①異物混入対策・食品微生物検査対策

給食用物資の異物混入については、平素から学校給食関係者・機関が一体となって、学校給食で異物を出さないよう努めているが、毎年度相当件数発生している。

平成27年度287件、28年度204件、29年度172件、30年度99件令和元年度91件、令和2年度86件となり減少傾向は続いている。

異物を発見した場合は、納入業者に現物を引き渡し、製造業者を含めて、異物混入の原因とその再発防止対策について速やかな報告を求め、対策の実施を指導した。

また、食品微生物検査対策については、年3回各学校給食センターで実施された食材の微生物検査結果を確認し、基準値を超えた場合は、当該業者に指導・注意喚起を行っている。(2年度は実績なし)

### ②工場視察の実施

上記の異物混入や食品微生物検査結果に基づき、異物内容、発生回数、検査結果数値等の実態に応じて、工場等への立入調査を行い、その原因や再発防止について業者と協働で対策を講じている。(2年度は実績なし)

また、納入指定業者の新規申請者については、工場等への視察を行い、設備、衛生管理などの現状把握に努めた。

### ③放射性物質等検査結果の確認

納入予定物資の産地確認を行うと共に、産地に応じて納入業者から放射性物質検査結果書の提出、又はホームページにより確認を行い安全確保に努めた。

また、外国産冷凍野菜については、ポジティブリスト(農薬残留値リスト)や細菌検査成績書の提出を受けて、確認を行い安全確保に努めた。

## (3) 給食会の収支状況

令和元年度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の事業運営に取り組んだが、大きな赤字を計上する結果となった。

単位：円

年度	正味財産増減額	正味財産期末残高
25	△6,626,470	14,260,704
26	△1,237,557	13,023,147
27	22,830,229	35,853,376
28	3,633,802	39,487,178
29	△5,754,738	33,732,440
30	4,746,083	38,478,523
元	3,262,712	41,741,235
2	△15,584,125	26,157,110

## (1) 物資の選定・調達

学校給食用物資の購入にあたっては、本会の納入指定業者登録制度に基づき登録した66業者から購入した。(令和2年3月31日現在)

区分	業者数	登録期間	備考
主食	7	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日	副食はのべ業者数
牛乳	2		
副食	58		
計	66		

### ①主食

#### ア 精米・小麦粉

前年度と同様、松江市教育委員会から公益財団法人島根県学校給食会に提出された「学校給食(精米・小麦粉)需要申請書」に基づき、年間を通して(公財)島根県学校給食会から購入した。米は、令和元年11月から松江市管内産こしひかり2等米から市内産のきぬむすめ1等米に変更している。

パン用の小麦粉は、国内産小麦100%で内20%が島根県内産を使用し、麺用の小麦粉はオーストラリア産小麦100%を使用した。

#### イ ごはん・パン・麺

ごはん・パン・麺は、(公財)島根県学校給食会、業者、本会との3者契約により、炊飯3業者、パン3業者、麺1業者から購入した。

### ②牛乳

「学校給食用牛乳供給対策要綱」(文部科学省事務次官通達)及び「島根県学校給食用牛乳供給実施方針」に基づき、配分機関である(公財)島根県学校給食会と牛乳供給事業者である2業者(一部地域は他業者と業務委託)、本会との各三者契約により購入した。牛乳は、すべて島根県内産である。

幼稚園用牛乳については、学校給食法に基づく給食ではないため、本会と牛乳業者2社との個別契約により購入した。

### ③副食物資

翌月の献立に基づき、納入指定業者から、食材の「サンプル」及び「見積書」を徴取し、学校給食用物資選定会において、「物資選定基準・分類表」に基づき栄養バランス、成分、添加物、アレルギー物質の有無、食味、食感、産地、価格等を比較検討し、納入する物資及び納入業者を決定した。

使用頻度が高く価格変動の少ない物資(調味料・缶詰等)は、学期毎の選定を野菜・食肉等は、月毎の選定を行った。

## 2) 物資の納入先

給食センター	小学校	中学校	幼稚園	計
北センター	中央、津田、川津 朝酌、持田、本庄 美保関、八束前期	第二、第四 本庄、美保関 八束後期	中央、津田、川津 朝酌、持田、本庄	20
南センター	雑賀、古志原 竹矢、乃木 忌部、大庭	第三、湖南 湖東	雑賀、古志原 竹矢、忌部、大庭	15
西センター	母衣、城北、 内中原、法吉 生馬、古江 大野、秋鹿	第一、湖北	母衣、城北 生馬、古江 大野、秋鹿	17
鹿島センター	恵曇、佐太 鹿島東	鹿島	恵曇、佐太、講武	8
島根センター	島根	島根	—	3
八雲センター	八雲	八雲	—	3
玉湯小学校	玉湯、大谷	—	玉湯、大谷	5
玉湯中学校	—	玉湯	—	2
宍道センター	宍道、来待	宍道	—	4
東出雲センター	出雲郷、揖屋 意東	東出雲	—	5
10	34	16	22	82

※ 鹿島センター、玉湯小管内の幼稚園は完全給食、南・北・西センター管内の幼稚園は牛乳給食、その他の幼稚園は給食なし。

※ 生馬・恵曇・竹矢・大谷幼稚園は休園

## 9. 資料

### (1) 受取給食費単価（平成26年2学期から）

（単位：円／食）

区分	完全給食	牛乳給食	備考
小学校	272	—	
中学校	313	—	
幼稚園	251	50	